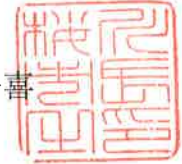


◎ 桜川市告示第104号

都市計画法（昭和43年法律第100号）第19条第1項の規定に基づき、  
下館・結城都市計画地区計画を決定したので、同法第20条第1項の規定によ  
り告示し、同条第2項の規定により当該都市計画の図書を次の場所において公  
衆の縦覧に供する。

令和 4年 7月 1日

桜川市長 大塚 秀喜



- 1 都市計画の種類  
地区計画（高久工業地区地区計画）
- 2 都市計画を定める土地の区域  
大国玉 字山田新田の一部  
高久 字鷺宿の一部
- 3 都市計画の図書の縦覧場所  
建設部都市整備課

下館・結城都市計画地区計画の決定（桜川市決定）

都市計画高久工業地区地区計画を次のように決定する。

名	称	高久工業地区地区計画
位	置	桜川市大国玉及び高久の各一部
面	積	約 17.0 ha
地区計画の目標		この地区計画は、区域区分の決定より前に開発許可を受けて造成された職住近接型団地「高久団地」の工業地部分及びその近傍に現に集積している工業施設ストックを活かし、周辺の集落環境との調和に配慮しつつ、新たな工業生産機能の創出に寄与する土地利用を計画的に誘導し、もって本市の経済活力の向上に資することを目標とする。
区域の整備、開発及び保全に関する方針	土地利用の方針	土地利用の方針は、この地区計画の区域（以下「本区域」という。）が市街化調整区域内に存し、開発行為を行うに当たっては、原則として都市計画法（昭和43年法律第100号）第33条の技術基準が適用されるから、民間資本による適正な土地の造成、公共施設の整備等がなされ、公共投資に過大な負荷を生じさせないことを前提として、周辺の集落環境との調和に配慮した新たな工業生産機能の創出に寄与する土地利用を計画的に誘導していくこととする。
	地区施設の整備方針	地区施設は、本区域内における道路法（昭和27年法律第180号）による道路のうち、幹線道路及び補助幹線道路と連携して地区内で発生する交通を適正に処理するための路線を区画道路として定め、将来にわたる持続的な維持及び管理に努めるものとする。
	建築物の整備方針	建築物に関する事項は、建築物の用途の制限、敷地面積の最低限度及び建築物の高さの最高限度をそれぞれ次のように定める。 (1) 建築物の用途の制限は、周辺の集落環境との調和に配慮した新たな工業生産機能の創出に寄与する建築物の用途を適正に許容することができるように定める。 (2) 敷地面積の最低限度及び建築物の高さの最高限度は、本市にふさわしいゆとりある土地利用の形成を図るため、それぞれ住居系用途地域における最も厳格な基準に準拠して定める。

地区 整 備 計 画	地区施設の配置及び 規模		地区施設の区分	代表幅員	総延長	備考
			区画道路 30・4・1号	8.0 ～ 12.0 m	約 145 m	市道 Y1527号線
			区画道路 30・4・2号	7.5 ～ 10.0 m	約 200 m	市道 Y1530号線
			区画道路 30・4・3号	12.5 m	約 95 m	市道 Y1536号線
			区画道路 30・4・4号	9.0 m	約 245 m	市道 Y1553号線
		区画道路 30・4・5号	9.0 ～ 13.0 m	約 400 m	市道 Y1559号線	
建 築 物 に 関 す る 事 項	エリアの名称	準工業生産エリア				
	建築物の用途 の制限	次に掲げる建築物は建築してはならない。 (1) 建築基準法(昭和25年法律第201号)別表第2(に)項第3号に掲げる建築物 (2) 建築基準法別表第2(ほ)項第2号及び第3号に掲げる建築物 (3) 建築基準法別表第2(る)項に掲げる建築物 (4) 建築基準法別表第2(を)項に掲げる建築物 (5) 店舗、飲食店その他これらに類するものでその用途に供する部分の床面積の合計が 1,500 m <sup>2</sup> を超えるもの				
	敷地面積の最 低限度	敷地面積の最低限度は 200 m <sup>2</sup> とする。				
	建築物の高さ の最高限度	建築物の高さの最高限度は 10 m (建築基準法第56条の2の規定並びに同法別表第4第1項(は)欄及び(に)欄(1)号の基準に適合するものについては 20 m) とする。				
	既存の建築物 に対する用途 の制限の緩和	建築物の用途の制限は、この地区計画の決定の告示(以下「決定告示」という。)の際現に存する建築物(都市計画法又はこれに基づく命令若しくは条例(以下「都市計画法令」という。)の規定に違反していないと認められるものに限る。)について、次の各号に定める範囲内で増築、改築、移転、大規模の修繕又は大規模の模様替をする場合においては、適用しない。 (1) 決定告示の際現に存する敷地(都市計画法令の規定に違反していないと認められる部分に限る。)内で行うものであること。 (2) 用途を変更しないで行うものであること。				

	<p>既存の建築物等に対する敷地面積の制限の緩和</p>	<p>敷地面積の最低限度は、これに適合しない建築物の敷地で、次の各号のいずれかに該当するものに対しては、適用しない。</p> <p>(1) 決定告示の際現に一の敷地（都市計画法令の規定に違反していないと認められる部分に限る。）として使用されている土地の全部（決定告示後に建築基準法第86条の9第1項各号に掲げる事業（以下「公共事業」という。）の施行により減少した部分を除く。）を一の敷地として使用するもの</p> <p>(2) 決定告示の際現に所有権その他の権利が存する一団の土地について、その全部（決定告示後に公共事業の施行により減少した部分を除く。）を一の敷地として使用するもの</p>
	<p>既存の建築物に対する高さの制限の緩和</p>	<p>建築物の高さの最高限度は、これに適合しないで現に存する建築物（都市計画法令の規定に違反していないと認められる部分に限る。）について、増築又は改築をする場合においては、当該増築又は改築をする部分以外の部分に対して適用せず、移転、大規模の修繕、大規模の模様替又は用途の変更をする場合においては、適用しない。</p>
	<p>公益上必要な建築物の特例</p>	<p>建築物に関する事項は、これに適合しない建築物又は建築物の敷地で、市長が公益上必要と認め、かつ、用途上又は構造上やむを得ないと認めたものに対しては、適用しない。</p>
	<p>桜川市都市計画審議会の議を経た建築物の特例</p>	<p>建築物に関する事項（建築物の用途の制限を除く。）は、これに適合しない建築物又は建築物の敷地で、市長が桜川市都市計画審議会の議を経て本区域の目指すべき土地利用の環境を害するおそれがないと認め、かつ、用途上又は構造上やむを得ないと認めたものに対しては、適用しない。</p>
<p>備考</p>	<p>1. この計画書で使用する用語の意義は、都市計画法及び建築基準法並びにこれらに基づく命令及び条例の例による。</p> <p>2. 建築物の敷地が本区域の内外にわたる場合において、当該敷地の過半が本区域内に属するときは、その建築物及びその敷地の全部が本区域内に存するものとみなし、当該敷地の過半が本区域外に属するときは、その建築物及びその敷地の全部が本区域外に存するものとみなす。</p> <p>3. 前項に定めるもののほか、この地区計画で定める事項のうち建築物の制限に関わる事項及びその技術的細目は、建築基準法第68条の2第1項の規定による条例及びこれに基づく規則その他の規程で定める。</p> <p>4. 他の地区計画の区域との関係を明らかとするための便宜上、本区域を準工業生産エリアと称する。</p>	

「区域は計画図表示のとおり」

#### 理 由

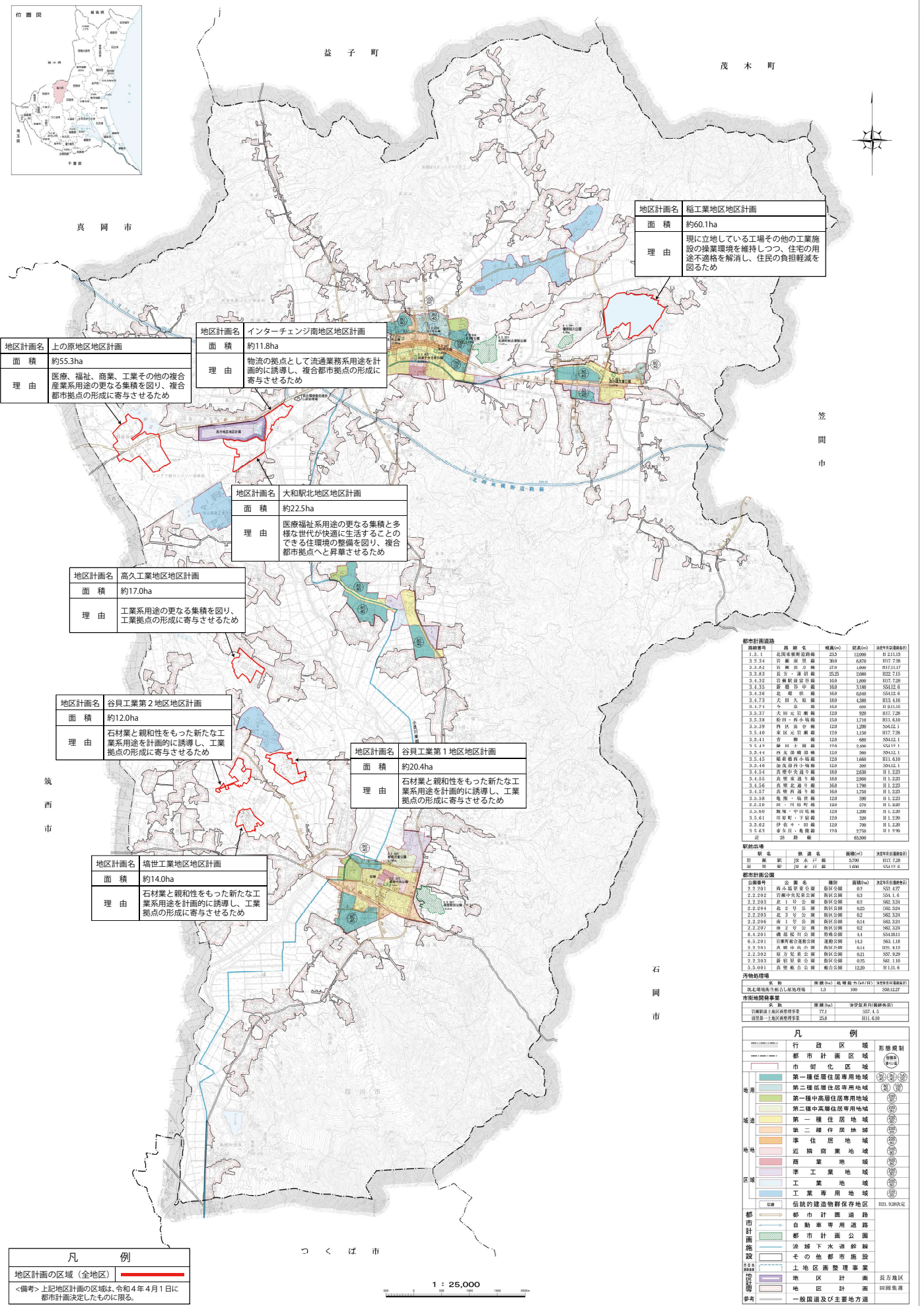
高久工業地区は、区域区分の決定より前に造成された「高久団地」の工業地部分を基盤とする地区である。高久団地は、財団法人茨城県開発公社が開発許可を受けて造成した住工一体型の団地であり、その工業地部分は地域経済の活性化及び地域住民の雇用の場の形成に大きく貢献してきたが、区域区分の決定によって市街化調整区域となっている。

そこで、本地区区について地区計画を定め、工業系用途の更なる集積を図り、市の経済活力の向上に寄与させようとするものである。

# 地区計画総括図

「国土利用計画法」第11条第2項第2号の地区計画の区域を定めることに関する条例（昭和44年4月1日制定）に基づき制定されたものに限る。

令和三年三月



地区計画名	上の原地区地区計画
面積	約55.3ha
理由	医療、福祉、商業、工業その他の複合産業用途の更なる集積を図り、複合都市拠点の形成に寄与させるため

地区計画名	インターチェンジ南地区地区計画
面積	約11.8ha
理由	物流の拠点として流通業務用途を計画的に誘導し、複合都市拠点の形成に寄与させるため

地区計画名	稲工業地区地区計画
面積	約60.1ha
理由	既に立地している工場その他の工業施設の操業環境を維持しつつ、住宅の用途不適格を解消し、住民の負担軽減を図るため

地区計画名	大和駅北地区地区計画
面積	約22.5ha
理由	医療福祉系用途の更なる集積と多様な世代が快適に生活することのできる住環境の整備を図り、複合都市拠点へと昇華させるため

地区計画名	高久工業地区地区計画
面積	約17.0ha
理由	工業系用途の更なる集積を図り、工業拠点の形成に寄与させるため

地区計画名	谷貝工業第2地区地区計画
面積	約12.0ha
理由	石材業と親和性をもった新たな工業系用途を計画的に誘導し、工業拠点の形成に寄与させるため

地区計画名	谷貝工業第1地区地区計画
面積	約20.4ha
理由	石材業と親和性をもった新たな工業系用途を計画的に誘導し、工業拠点の形成に寄与させるため

地区計画名	埼玉工業地区地区計画
面積	約14.0ha
理由	石材業と親和性をもった新たな工業系用途を計画的に誘導し、工業拠点の形成に寄与させるため

路線番号	路線名	幅員(m)	延長(m)	決算年度(路線別)
1.3.1	北原尾根新幹線	215	12,000	H 211.15
3.2.34	宇都宮線	300	6,870	H17.7.28
3.3.62	石原線	17.0	1,000	H17.11.17
3.3.63	長月線	25.05	2,000	H22.7.15
3.4.32	宮原線	15.0	1,000	H17.7.28
3.4.35	新藤谷線	16.0	3,180	SS412.6
3.4.36	北原線	16.0	6,840	SS412.6
3.4.73	大田久保線	18.0	4,280	H13.4.16
3.4.74	幸志線	16.0	800	H 1011.12
3.4.77	大田久保線	12.0	930	H17.7.28
3.5.38	松田・西水尾線	15.0	1,710	H11.6.10
3.5.39	西水尾線	12.0	1,200	SS412.1
3.5.40	草区尾線	12.0	1,150	H17.7.28
3.5.41	青柳線	12.0	800	SS412.1
3.5.42	藤田線	12.0	9,000	SS419.1
3.5.44	西水尾線	12.0	300	SS412.1
3.5.45	藤田線	12.0	1,600	H11.6.10
3.5.46	藤田線	12.0	300	SS412.1
3.4.34	宮原線	18.0	2,630	H 1.2.23
3.4.55	宮原線	18.0	2,960	H 1.2.23
3.4.56	宮原線	16.0	1,700	H 1.2.23
3.4.57	宮原線	16.0	1,700	H 1.2.23
3.5.38	藤田線	12.0	500	H 1.2.23
3.5.40	川原町線	18.0	870	H 1.9.20
3.5.40	藤田線	12.0	1,200	H 1.2.20
3.5.41	川原町線	12.0	320	H 1.2.20
3.5.62	伊豆川・田原	12.0	700	H 1.2.20
3.5.63	伊豆川・田原	12.0	970	H 1.9.20
	計		63,500	

駅名	駅名	面積(m <sup>2</sup> )	決算年度(路線別)
若原	若原	5,700	H11.7.28
藤田	藤田	1,600	SS419.6

都計画区画番号	公共名称	種別	面積(m <sup>2</sup> )	決算年度(路線別)
2.2.202	石原線	都計画区画	63	SS414.6
2.2.203	北水尾線	都計画区画	62	SS413.24
2.2.204	北水尾線	都計画区画	605	SS413.24
2.2.205	北水尾線	都計画区画	62	SS413.24
2.2.206	南1号線	都計画区画	0.14	SS413.24
2.2.207	南2号線	都計画区画	62	SS413.24
4.4.201	藤田線	都計画区画	44	SS410.11
6.5.201	宮原線	都計画区画	143	SS411.18
2.2.202	石原線	都計画区画	63	H11.4.12
2.2.202	石原線	都計画区画	621	SS7.9.29
2.2.203	北水尾線	都計画区画	625	SS411.18
2.5.001	宮原線	都計画区画	1,200	H 1.11.6

汚物処理場	名称	面積(m <sup>2</sup> )	処理能力(t/日)	決算年度(路線別)
	北原尾根地区汚物処理場	137	100	SS412.7

市地開発事業	名称	面積(m <sup>2</sup> )	決算年度(路線別)
	石原線市地開発事業	771	SS7.4.5
	北水尾線市地開発事業	25.8	H11.6.10

凡例		形態規制
行政区域	市地計画区域	(市地)
市地計画区域	第一種低層住居専用地域	(R1)
市地計画区域	第二種低層住居専用地域	(R2)
市地計画区域	第一種中高層住居専用地域	(R1H)
市地計画区域	第二種中高層住居専用地域	(R2H)
市地計画区域	第一種住居地域	(R1)
市地計画区域	第二種住居地域	(R2)
市地計画区域	準住居地域	(R2)
市地計画区域	近隣商業地域	(C)
市地計画区域	商業地域	(S)
市地計画区域	準工業地域	(I)
市地計画区域	工業地域	(II)
市地計画区域	伝統的建造物保存地区	(B21, B20)
市地計画区域	都市計画道路	(R)
市地計画区域	自動車専用道路	(R)
市地計画区域	都市計画公園	(G)
市地計画区域	湧降下水道線	(W)
市地計画区域	その他の都市施設	(F)
市地計画区域	土地区画整理事業	(R)
市地計画区域	地区計画	長方地区
市地計画区域	地区計画	田園集落
市地計画区域	一般国道及び主要地方道	(R)

凡例	
地区計画の区域(全地区)	(赤線)
＜備考＞上記地区計画の区域は、令和4年4月1日に都市計画決定したものに限る。	

1 : 25,000

# 計画図 (高久工業地区)

